



2022年4月20日

各位

会社名：アコム株式会社
 代表者名：代表取締役社長 木下 政孝
 （コード番号：8572 東証スタンダード）
 問合せ先：広報・IR室長 岡本 貴史
 電話番号：03-5533-0861

通期業績予想の修正および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月13日に公表しました2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の業績予想および期末配当予想について、下記のとおり、修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期業績予想の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

（1）連結

（単位：百万円、％）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益（円）
前回発表予想（A）	260,700	79,900	80,100	61,000	38.94
今回修正予想（B）	262,100	34,800	35,400	55,700	35.55
増減額（B－A）	1,400	△45,100	△44,700	△5,300	
増減率（％）	0.5	△56.4	△55.8	△8.7	
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	266,316	98,896	100,014	78,864	50.34

（2）個別

（単位：百万円、％）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益（円）
前回発表予想（A）	193,800	58,800	64,800	55,400	35.36
今回修正予想（B）	194,600	11,600	17,900	48,100	30.70
増減額（B－A）	800	△47,200	△46,900	△7,300	
増減率（％）	0.4	△80.3	△72.4	△13.2	
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	197,986	73,938	81,254	70,915	45.27

アコム株式会社

2. 修正の理由

(1) 連結業績予想の修正について

前回の業績予想に対して、営業収益は、包括信用購入あっせん収益が計画を上回ったことなどから、2,621億円（前回予想比14億円増）となる見込みです。営業費用は、貸倒関連費用、その他の営業費用が計画を下回ったものの、計画外で利息返還損失引当金に589億円（第3四半期76億円、第4四半期512億円）を繰入れしたことから、営業費用全体では2,273億円（同465億円増）となる見込みです。

利息返還請求につきましては、2022年3月期の請求件数が期初の予想を上回って推移している状況や、足もとの利息返還請求の動向などを勘案し将来の請求発生予想額を再算定した結果、必要な利息返還損失引当金は862億円となり不足額を繰入れしました。

これらの結果、営業利益は348億円（同451億円減）、経常利益は354億円（同447億円減）となる見込みです。

一方で、「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」に基づき、2022年3月期および今後の業績見通しなどを勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討しました。

この結果、2022年3月期において繰延税金資産を追加計上し、これにより法人税等調整額は△443億円と利益方向に押し上げられたことから、親会社株主に帰属する当期純利益は557億円（同53億円減）となる見込みです。

(2) 個別業績予想の修正について

前回の業績予想に対して、営業収益は、包括信用購入あっせん収益が計画を上回ったことなどから、1,946億円（前回予想比8億円増）となる見込みです。営業費用は、金融費用、貸倒関連費用、その他の営業費用が計画を下回ったものの、計画外で利息返還損失引当金に589億円（第3四半期76億円、第4四半期512億円）を繰入れしたことから、営業費用全体では1,830億円（同480億円増）となる見込みです。

利息返還請求につきましては、2022年3月期の請求件数が期初の予想を上回って推移している状況や、足もとの利息返還請求の動向などを勘案し将来の請求発生予想額を再算定した結果、必要な利息返還損失引当金は862億円となり不足額を繰入れしました。

これらの結果、営業利益は116億円（同472億円減）、経常利益は179億円（同469億円減）となる見込みです。

一方で、「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」に基づき、2022年3月期および今後の業績見通しなどを勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討しました。

この結果、2022年3月期において繰延税金資産を追加計上し、これにより法人税等調整額は△447億円と利益方向に押し上げられたことから、当期純利益は481億円（同73億円減）となる見込みです。

3. 2022年3月期 期末配当予想の修正

(1) 修正の内容

	1株当たりの年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		3.00	6.00
今回修正予想		4.00	7.00
当期実績	3.00		
前期実績 (2021年3月期)	3.00	3.00	6.00

(2) 修正の理由

当社は、株主への利益還元を重要な経営課題のひとつに位置づけ、「業績、自己資本ならびに当社を取り巻く経営環境を勘案の上、安定的、継続的な利益還元を図り、株主還元の充実を目指す」ことを基本的な考え方としております。

2022年3月期の期末配当予想につきましては、足もとの財務状況や利息返還費用を除いた通期業績などを総合的に勘案した結果、前回予想から1円引き上げ、1株当たり4円に修正し増配する予定といたしました。

※業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上